

**マスミューチュアル生命
120億円を上限とする増資を決定
財務基盤強化維持向上を図る**

マスミューチュアル生命保険株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役社長:平野 秀三以下、マスミューチュアル生命)は、2008年11月21日開催の臨時株主総会において、120億円を上限とする増資を行うことを決議しました。

今回の増資は、財務基盤を強化することにより経営健全性の維持向上をはかるため、既存株主であるマスミューチュアル・フィナンシャル・グループのマスミューチュアル・インターナショナル・LLC に対する新株の割当発行として行われます。

今後、12月に開催されるマスミューチュアル・インターナショナル・LLCの機関決定を経て発行することとなりますが、発行額は70億円から120億円の間で決定される予定です。

親会社マサチューセッツ・ミューチュアル・ライフ・インシュアランス・カンパニー(以下MassMutual)はアメリカで155年以上事業を続けてきました。MassMutual は金融面での強み、リスク分散と品質についてのレピュテーションを築いています。相互会社であることから、長期的視野に立ち契約者・顧客の利益を最優先してきました。MassMutualは、米国生保業界でトップクラスの格付けを有し、2008年9月30日時点において約85億ドルの余剰資本を計上しています。

以上

マスミューチュアル生命について

MassMutual Life Insurance Company

「マスミューチュアル生命」は、米国総合金融グループ「マスミューチュアル・フィナンシャル・グループ」の一員です。

格付けについて

当社はスタンダード&プアーズ社(S&P)より保険財務力格付けにおいて「AA」の評価を受けています。

The image shows the letters 'AA' in a large, bold, serif font. The letters are black with a white outline and a slight shadow effect, giving them a three-dimensional appearance. They are centered above a rectangular box.

保険財務力格付け
スタンダード&プアーズ社

※格付けは2008年10月末現在の評価であり、将来的に変更される可能性があります。また、格付けは格付会社の意見であり、保険金支払などについて格付会社が保証を行うものではありません。

マスミューチュアル生命の URL: www.massmutual.co.jp

マスミューチュアル・フィナンシャル・グループについて

「マスミューチュアル・フィナンシャル・グループ」は、5,054 億ドル(約 57 兆 6,900 億円*)を超える運用資産を有する、国際的、多角的、成長指向型の金融サービス組織です。グループの各企業は生命保険、年金、所得補償保険、長期介護保険、退職プランニング商品、信託業務、資金運用、その他金融商品・サービスを提供しています。

グループの中核となる生命保険会社マサチューセッツ・ミューチュアル・ライフ・インシュアランス・カンパニーは主要格付会社よりそれぞれトップレベルの格付けを付与されており、極めて強固な財務基盤を有する生命保険会社です。

(スタンダード&プアーズ:「AAA」、フィッチ:「AAA」、A.M.ベスト:「A++」、ムーディーズ:「Aa1」)

「マスミューチュアル・フィナンシャル・グループ」は、マサチューセッツ・ミューチュアル・ライフ・インシュアランス・カンパニーおよびその関係会社を指すマーケティング・ネームです。関係会社には、オープンハイマー・ファンド・インク、バブソン・キャピタル・マネジメント・LLC、ベアリング・アセット・マネジメント・リミテッド、コーナーストーン・リアルエステート・アドバイザーズ・LLC、MML・インヴェスターズ・サービシーズ・インク、ザ・マスミューチュアル・トラスト・カンパニー・FSB、MML・ベイ・ステート・ライフ・インシュアランス・カンパニー、C.M.・ライフ・インシュアランス・カンパニー、マスミューチュアル・インターナショナル・LLC が含まれます。
マスミューチュアル・フィナンシャル・グループの URL: www.massmutual.com

*2007年12月末現在、1ドル=114.15円で換算

※上記の格付けは2008年10月末現在の評価であり、将来的に変更される可能性があります。

※この参考資料の内容は日本のマスマチュアル生命保険株式会社に該当する内容ではありません。

下記の「資料1」マスマチュアル生命の米国親会社、マサチューセッツ・ミュチュアル・ライフ・インシュアランス・カンパニーの2008年第3四半期決算については2008年11月10日、「資料2」TARP(Capital Purchase Program)についてのメッセージは11月7日に米国にて発表した資料の日本語訳です。原文は英文資料であり、発表内容を正確にご理解いただくにあたり、英文資料が米国マスマチュアルのホームページに掲載されておりますのでご参照下さい。各日本語訳資料の末尾のアドレスにてご確認下さい。

記

(資料 1.)

「米国マスマチュアル(注記1)の第3四半期(2008年9月末)

連結法定会計決算状況のハイライト

2008年11月10日マサチューセッツ州スプリングフィールドー 2008年9月30日までの9ヶ月間における米国マスマチュアルの配当及び税引前法定営業純利益は18億4,100万ドルと、前年同期から19%増加しました。売上は142億8,900万ドルと7%増加しており、支払保険金等及び経費の増加6%より高い傾向にあります。実現キャピタル損失を含む総純利益は4,300万ドルと、前年同期の4億8,300万ドルの純利益と比較して減少しました。純利益が低水準である主な要因は、運用マーケットの継続的な下落による作用とこの下落による運用ポートフォリオへの影響のためです。2008年9月30日における剰余金は、84億5,200万ドルと、2007年度12月末の80億400万ドルから6%増加しました。

エグゼクティブ・バイス・プレジデント兼CFOのマイケル・ローリングは、「第3四半期末の9ヶ月間において剰余金、運用資産、売上の成長及び純利益はこの不安定な時期において、明らかな成果であり、マスマチュアルの強さや契約者へ提供する価値を浮き彫りにしている。」と述べています。

2008年第3四半期末の9ヶ月間における財務ハイライト:

- 売上が142億8,900万ドルと前年同期の133億2,500万ドルから7%増加
 - 保険料収入が99億2,600万ドルと前年同期から6%増加
 - 終身保険の売上が前年同期から16%増加
 - 年金商品の売上が前年同期から46%増加
 - 非保険事業の子会社からの配当収入の貢献により、純資産運用収益が40億800万ドルと前年同期の35億1,900万ドルから14%増加
- 支払保険金等及び経費は、124億4,800万ドルと前年同期の117億8,400万ドルから6%増加していますが、売上の増加率よりも低い傾向が続いています。

- 配当及び税引前法定営業純利益は、18億4,100万ドルと前年同期から19%増加していますが、これは主力事業における強い販売力や収益力および資産運用子会社からの収益分配の増加を反映しています。
- 契約者配当が10億300万ドルと前年同期の8億9,600万ドルから12%増加しています。
- 実現キャピタル損失は、9億2,200万ドルと前年同期の3,700万ドルと比較して大きく増加しています。主な要因は、グローバル・キャピタル・マーケットにおける継続的なストレスにより資産ポートフォリオの劣化が進んだためです。
- 2008年9月30日現在、運用資産が832億5,600万ドルと、前年同期の790億9,500万ドルから5%増加しています。
- 資本力は極めて強固であり、2008年9月30日における剰余金は84億5,200万ドルと2007年12月31日時点と比較して6%増加しました。この強固な資本が、あらゆる業界の中で最も高い財務力格付けとして認められています。
- スタンダード&プアーズおよびムーディーズ社は、最近レポートを公表しましたが、それぞれ「AAA/安定的」と「Aa1/安定的」という財務力格付けを付与しています。
(格付情報の詳細については、massmutual.com/ratings をご参照ください。)

運用ハイライト:

- 2008年9月30日までの9ヶ月間の純資産運用収益は40億800万ドルと、前年同期の35億1,900万ドルと比較して増加しています。
- 2008年9月30日現在の運用資産残高は、832億5,600万ドルですが、多様化された資産区分、業種・地理的地域に分散しています。
 - 長期債券:54%
 - 住宅ローン:16%
 - 契約者貸付:11%
 - パートナーシップおよびLLC:7%
 - 株式:3%
 - 短期資金・現金:4%
 - 不動産:1%
 - その他:4%
- 2008年9月30日現在で、長期債券の91%は投資適格です。
- 2008年9月30日現在、分散された債券ポートフォリオの一部に住宅ローン担保証券資産がありますが、その中に17億4,900万ドルのサブプライム関連投資及び34億4,700万ドルのオルトA関連投資があります。これらの投資は、運用資産全体の6.2%を占めており、約84%がAAAという非常に高い格付けのものです。

- 2008年9月30日において、最も大きな長期社債へのエクスポージャーは9,600万ドルと運用残高の0.1%に過ぎません。

注記1:連結法定会計業績は、マサチューセッツ・ミューチュアル・ライフ・インシュアランス・カンパニー及びその子会社であるC.M ライフ・インシュアランス・カンパニー、MML ベイ・ステート・インシュアランス・カンパニーによるものです。

参考:マサチューセッツ・ミューチュアル・ライフ・インシュアランス・カンパニーのホームページの英文資料掲載アドレスです。

http://www.massmutual.com/mmfg/pdf/2008Q3_financial_summary.pdf

(資料 2.)

本資料は、米国本社にて2008年11月7日プレスリリースにて発表された資料の日本語訳です。

「マスマューチュアルは金融安定化公的資金注入計画

TARP (Capital Purchase Program)に参加する意向はない。」

2008年11月7日マサチューセッツ州 スプリングフィールドーマサチューセッツ・ミューチュアル・ライフ・インシュアランス・カンパニー(マスマューチュアル)は本日、米国財務省より出された金融安定化公的資金注入計画の提案について次の声明を発表した。

マスマューチュアルは現在の経済環境下にもかかわらず、保険契約者と顧客の必要を満たすのに十分に強固な財務力と資本を堅持しています。155年以上にわたり、マスマューチュアルは長期的な視点にたち、当社の保険契約者が期待している経営の強さと安定性を提供してきました。

当社は財務力の健全性、多様化、高品質という評判の上に築かれています。さらに、相互会社としての会社形態が、当社の保険契約者へ長期的な利益を考慮して経営していくことを可能にしています。したがって、当社は米国財務省との直接的ないかなるディスカッションにも参加してきませんでした。そして、金融安定化公的資金注入計画(TARP Capital Purchase Program)に参加する意向はありません。

参考:マサチューセッツ・ミューチュアル・ライフ・インシュアランス・カンパニーのホームページの英文資料掲載アドレスです。

<http://www.massmutual.com/>

以上